

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR202C	TCR_プレゼンテーションI_C	
科目名（コード）	TCR202	TCR_プレゼンテーションI_C	
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	2年生
対象コース	CH2	単位数	2単位30
授業担当者	渋谷里美	時間数	
成績評価教員	渋谷里美	講義期間	春期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が就業後の課題遂行能力を高めるために、幅広くかつ抽象的な日本語の話題でやりとりができるようになる。
全体の内容と概要	時事問題などを中心に現代社会における諸問題を多国籍の学生とのディベートや発表を通して深く多角的な視点で理解し、国際社会の一員としての教養を身につける。
授業時間外の学修	提示されたテーマについて理解を深めるために予習が必須である。
履修上の注意事項等	自身の考えをまとめ、明確に表現するため、積極的に授業に参加する姿勢が必要となる。期末試験として自己PRの発表を実施する予定。出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	授業の内容・目的を理解することができる	ガイダンス（年間授業スケジュール） 目標設定
2	自己分析① 自身を分析し経歴を記述することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第1回 文法
3	自己分析② 自身を分析し経歴を簡潔に述べることができる。	ニュースについて意見交換 『20日で合格N1』 第2回 文法
4	時事問題① 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第3回 文法
5	時事問題② 時事について意見を交換することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第4回 文法
6	時事問題③ 時事についてグループごとに意見をまとめることがで	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第5回 文法
7	時事問題④ 時事についてグループの意見をまとめ、発表すること	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第6回 文法
8	時事問題⑤ 気になるニュースについてより深く調べることができる	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第7回 文法
9	時事問題⑥ 気になるニュースについてより深く調べることができる	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第8回 文法
10	時事問題⑦ 気になるニュースについて発表することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第9回 文法
11	時事問題⑧ 気になるニュースについて発表することができる。	ニュースについて意見交換、シャドーイング 『20日で合格N1』 第10回 文法
12	面接② マナーよく面接に臨み、基本的な質問に答えられる	前期のまとめ①
13	面接③・前期の振り返り	前期のまとめ②
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	『20日で合格N1』
参考文献・資料等	適宜配布
備考	進捗は変更になることがあります。 水曜日2限